

令和2年度（2020年度）第2回公立大学法人熊本県立大学経営会議  
議 事 録

- 1 日 時：令和2年（2020年）10月21日（水）午後2時～午後2時30分  
場 所：公立大学法人熊本県立大学大会議室  
出 席：理事長 白石 隆  
副理事長（学長）半藤 英明  
理事（副学長）堤 裕昭 \*オブザーバー  
理事（事務局長）斉藤 浩幸  
理事 本松 賢  
委員 櫻井 一郎  
委員 古荘 文子  
委員 江頭 実 ※  
監事 河喜多 保典  
監事 本田 悟士  
欠 席：委員 横田 桂子

※印は、公立大学法人熊本県立大学経営会議運営規程第3条第1項の規定に基づく書面での意思表示による出席者。

事務局：手島次長、三隅教務入試課長、西嶋学生支援課長、松永企画調整室長、丸山総務課長、脇地域連携政策センター事務長、安達学術情報メディアセンター事務長、宮本国際教育交流センター事務長、松本監査室長心得、高山総務課総務班長、井総務課財務班長、吉田総務課総務班参事、松本企画調整室参事

2 開会（進行：手島次長）

3 理事長あいさつ

4 議題（議長：白石理事長）

（1）審議事項

① 令和2年度10月補正予算（案）について

事務局から、資料1に基づき、令和2年度10月補正予算（案）について説明があった。今回は約2,300万円余の増額補正であり、収入予算補正の内訳は、新型コロナウイルス感染拡大防止と安全な授業の実施に向けた施設改修、被災地域復興・再生支援事業等実施に伴う目的積立金取崩の2,400万円余の増と、新型コロナウイルスの影響による国際教育関係事業の中止による運営費交付金133万円の減となること、支出予算補正の内訳は、新型コロナウイルス感染拡大防止と安全な授業に向けた施設改修費等として2,000万円余の増と被災地域復興・再生支援事業費として500万円の増、新型コロナウイルスの影響による国際教育・国際交流関係事業費が234万円余の減となることが説明された。

審議の結果、案のとおり承認された。

② 全学教育推進センターの改革（案）について

副学長から、資料 2 に基づき、共通教育を取り巻く現状とその課題の説明があり、課題解決の方向性として、教育内容やカリキュラム等を主体的に検討する必要があること、専門教育との両輪として全学共通教育を実施すること、基礎・教養教育を担当する組織の設置が必要であるため、令和 3 年 4 月に新しい全学共通教育組織を設置する旨説明があった。また、新しい全学共通教育組織の役割や全学共通教育見直しの方針について、読解力・作文力を育成する科目の開設や、入門レベルの情報処理教育に加えてデータアナリティクス並びにインターネットを利用した情報発信能力を養成する科目の開設等について説明があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

③ 客員教授の選考について

事務局から、資料 3 に基づき、客員教授に 1 名の任命を行う予定であり、その候補者名及び選考理由等の報告があった。

審議の結果、案のとおり承認された。

(2) 報告事項

① 令和元年度業務実績評価について

事務局から、資料 4 に基づき、6 月に熊本県公立大学法人評価委員会に対し、平成 31 年度（2019 年度）業務実績報告書を提出し、その評価結果について、9 月に法人評価委員会より通知があった旨報告があった。また、業務実績評価書の内容について、全体評価の概要の説明があった。

5 その他

- 次回経営会議は、令和 2 年（2020 年）12 月 16 日（水）午後 2 時開始予定であることを確認した。

6 閉会

以上